



ド、マンハイム大学での自分のメールアドレスが書いてある紙をもらえます。パスワードは自分で変えないといけません。portal2というページを開くと自分の学生証の写真をアップロードする画面になります。そこに自分のパスポートの写真を携帯で撮ってアップロードすると2, 3日後に学生証ができたというメールが届きます。パスポートの写真ではない写真を使う場合は15ユーロかかってしまうのでなるべくパスポートの写真にするといいです。寮の洗濯機は学生証がないと使えないので、学生証が発行されるまで洗濯ができなくてつらかったです。

## 7. 住民登録

K7という市役所で行います。私は予約をしないでいったので順番が回ってくるのに1時間半以上あったのでその間にまわりを散策しました。本来ならその待ち時間に3階に行ってビザの申請をするのがいいですが私は忘れていたので後日行きました。木曜日は普段より営業時間が長いので、授業終わってから行くのには狙い目です。順番が来ると、パスポート、住民登録の紙、管理人のサインが入った契約書を出すと登録をしてくれます。学生証を持って行くとセメスターチケット(トラムなどが乗り放題の定期)を発行してくれます。しかし、それは1年間留学する人に限ります。1年間留学する人はK7で無料でセメスターチケットを発行してもらえますが、私は留学が半年だったのでセメスターチケットを発行してもらえませんでした。その場合は学校でできます。セメスターチケットは学生証に文字が印字されるだけです。学生証を持ってメンザに行くと左に職員の人がいるカウンターがあります。そこに行って170ユーロ現金でチャージしてもらいます。チャージが終わると、すぐ近くに機械があるのでそこでセメスターチケットのボタンを押して学生証に文字が印字されていけば完了です。洗濯機を回すためにお金をチャージするときもすべてそのカウンターで行います。全て現金のみです。

## 8. トラムの乗り方

大学までトラムで20分かかる寮に住んでいたのトラムは毎日利用します。まずセメスターチケットがない間は駅の券売機で切符を買わないといけません。改札はないので無賃乗車をする人もたくさんいます。トラムに乗ったら、すぐの手すりに切符差し込むところがあるのでそこで切符を半分くらい入れるとスタンプが押されます。降りるときは次の駅がコールされた時にドアの周辺にあるドアを開くボタンを押します。すると上の掲示板にWagen hältと表示されます。降りる駅に着いたら、自動で開くか開かなかったら自分でドアを開くボタンを押します。

ほとんどの学生が英語圏なのですべてのコミュニケーションは英語がほとんどです。アジア圏の学生でもみんな英語は話せます。みんなが話していることについていけなかったり、オリエンテーションも理解するのに一苦労しています。まずはドイツ語も大事だけど英語もしっかりやっておけばよかったと後悔しています。

タンデムパートナーに出会いました。1人は日本に留学経験のある人でとても流ちょうに日本語を話します。半年の留学でこんなに上手に話せるようになるのかとタンデムパートナーを見ているととてもいい刺激になります。もう1人は9月から日本語学科の大学院生になるみたいで全く日本語話せないですがとてもいい人で、厳しくドイツ語を教えてもらっています。

銀行口座の開設、ビザの申請などについては来月分に書きます。



### III. 生活編

8月は申請や申し込みに追われて毎日てんやわんやしていましたが、9月になってやっと生活にゆとりが出ています。

#### <銀行口座開設>

私は大学の近くにあるSparkasseという銀行に口座を開設に行きました。ドイツの大体の銀行は2セメスター(1年留学する人)にしか対応していないみたいで、この銀行は1セメスターもいけると聞いたのでここにしました。まずは普通口座(Girokonto)を開設しました。パスポートやk7でもらった住民登録の紙、k7で住民登録を完了したら後日ポストにIDが書かれた紙が届くのでその紙も必要です。日本に住んでいた時の住所や、電話番号などを書いたらあとは銀行員さんに任せて待ちます。ここで大事なのが、日本のマイナンバーが必要です。銀行員の人に税識別番号？(Steuer-Identifikationsnummer)はあるかと聞かれて意味がわからなかったのではないかと答えたら、後日マイナンバーの番号を教えてくれないと契約が完了しないとのメールが来ました。マイナンバーは控えておくか、写真を撮るかしておくことをおすすめします。アメリカに口座を持っているのか、親は政治家ではないか、など軽い質問を受けてその後はやたら多い契約書にサインをしたら契約は終わりです。ネットバンキングなのでアプリをインストールしたりしたら終わりました。友達と申し込んだので2人で2時間かかりました。始めは閉鎖口座を作るために訪れましたが、普通口座を作らないと閉鎖口座が作れない、その日に一緒に閉鎖口座は作れないのでこの日は普通口座のみの開設になりました。しかし、この後のビザ予約に書いてある通り、私は閉鎖口座がいらぬみたいなのでラッキーでした。

#### <ビザ予約>

k7の3階(2. Etage)に行くと、名字の頭文字のイニシャルが書かれた部屋ごとに分かれています。イニシャルごとに人の混み具合も全然違います。自分のイニシャルの部屋に行くと担当の人にパスポートを見せて予約をしてもらいます。そのときにビザ申請に当たって必要なものを教えてもらいます。今までの留学の人の話を聞くと、必ず閉鎖口座(Sperrkonto)という言葉が聞きます。ビザ申請に当たって必要な口座です。しかし、私の担当の人はいらぬと言いました。親のパスポートのコピーと親が子供に月に720€ 支援します。と書いてサインが書いてある契約書？のような紙さえあればいいと言われました。その紙は手紙とかで送ってもらえば？とのことで、親の残高証明書、閉鎖口座の残高証明書とか、閉鎖口座とかすべていらぬだったのでドイツのテキトーさに驚きました。これは本当に担当の人によるのでドイツに行く前に親のパスポートのコピーや残高証明書とかは持って行った方がいいです。契約書のような紙も自分でwordで作ったもので、それを親にメールで送りコピーしてもらってサインをしてもらいました。後は親から郵便で送られるのを待つ形です。本当にこれでいいのかとついてきてくれたドイツ人の子に聞いてもこれで大丈夫！とのことでした。ドイツはサインの国なのでサインさえあればOKのようです。私のビザの申請は10月なのでそれまで緊張です。友達は9月なのでみんなタイミングはバラバラです。

#### <履修登録>

履修登録期間になるとメールで送られてきた所定のエクセルに自分の希望の教科を入れて送信するだけなのでそんなに難しくはありません。しかし、授業概要が書いてあるシラバスを読んだり、膨大な量の教科を一つずつ読んで履修するのはかなり手間がかかります。私は日本にいるときにある程度読んで、エクセルにも打ち込んだ状態にして来たので楽でした。ドイツの履修登録はとにかくスピード命です。語学コースを受けようと思うのであれば履修登録がスタートした瞬間に申し込むべきです。私は履修登録期間の3日目くらいで語学コースの空き状況を見たら満席だったので受けることができませんでした。語学コースは有料ですがドイツ語を話せるようになるいいきっかけになると思います。マンハイム大学は学部留学なのでこのコースを取らなかつたらほかにドイツ語を学べる機会は自分で作るしかありません。語学コースが取れなかったので難しい講義をドイツ語で聞く授業ばかりです。

#### <寮>

フラットメイトと喧嘩をしました。お風呂は5人で共同ですが、いつも中国人のフラットメイトがお風呂を汚くしてきます。私がどんだけ掃除しても次の日には床が真っ黒になっています。するとドイツ人のフラットメイトが私が汚くしていると勝手に勘違いしてお風呂を掃除しろと突然部屋に押し掛けてきました。次の日に掃除のおばちゃんがとてもきれいにしてくれていました。これで一件落着きと思いきや、私の部屋のドアにお風呂はあなただけのものではないのできれいに使ってください。今日あなたが汚したものをきれいにしました。という紙が貼られていました。ドイツ人フラットメイトがその日にハウスマイスターに私がお風呂を汚しているからきれいにしてくれと電話をしていたみたいです。これは濡れ衣だと思わずにドイツ人フラットメイトが帰るのを待ち伏せして、私は毎日お風呂を掃除している。勝手に犯人扱いするな。と言い返してやりました。そんな、犯人扱いなんてしてないよ。と言っていました。じゃああの部屋のドアの張り紙は何だと言いたいですよね。フラットメイトとは本当に関わりたいくないです。

Schloss Festという年に1回の学校のお祭りに行ってきました。その日は雨でなかなか寒かったですが花火も見ることが出来て、マンハイム城の本堂にも入ってきました。休日にはKarlsruheやMünchenに行きました。Karlsruheには日本庭園があって少しだけ日本にいる気分を味わえます。

本格的に寒くなってきたのに寮のヒーターがなぜか暖かくなりません。1日中ずっと冷えたままです。冬を乗り切れるか心配です。

。



### <ビザ申請>

事前に予約していた時間にk7に行き、予約の際に言われた書類をすべてコピーしていきます。コピーは大学で出来ます。図書館でも出来ますが、Infocenterの方が安く出来るのでおすすめです。パスポート、証明写真、予約の際にもらった黄色の個人情報を自分で書いた紙、保険の紙、寮の賃貸契約書、welcome letter、親のパスポートのコピー、親のサイン付きの契約書、私の日本の銀行口座の残高証明書(英語表記)を渡して、待合室で15分待っているとアナウンスで呼ばれて行くとパスポートにビザの紙が貼られていました。先月の報告書でも言いましたし、他の人の報告書にも書いてありますが、ビザに必要な持ち物は担当の人によって様々なので注意が必要です。証明写真は日本で撮って持って行きましたが、ドイツは背景が白じゃないといけないので、私が日本で撮った背景は水色だったのでドイツで撮り直しました。DMというドラッグストアで証明写真を簡単に撮ることが出来ます。大きい駅なら写真ボックスで撮ることも可能です。保険の紙は大学の入学手続きの際に加入したAOKという保険の紙で、VISA専用と書かれています。親のサイン付き契約書は親が子供に月に720€ 支援します。と書かれた、私がwordで自作した紙を親にコピーしてもらい、親がサインをして郵便で送ってもらった紙です。パスポートの筆跡を合わせるために親のパスポートのコピーも必要です。残高証明書は日本の銀行で作ることが出来ます。英語表記、ユーロ表記にしたいと頼むと1200円ほどで作ってもらえます。残高は720€ ×滞在月分のお金が入った状態で作りました。

### <テスト登録>

テスト登録期間になったらテスト申請をします。portal2でテスト申請の画面に入って、自分の受講している科目の申請をします。申請が出来たらすぐにマンハイム大学専用の自分のメールアドレスにメールも届きます。科目数が膨大で探すのに少し手間取りましたが出来ました。受講している科目が一覧表になかったらrumsupportにメールをします。テスト登録期間を過ぎると10€ 払って申請しないといけません。私はrumsupportにメールをしましたが未だにメールが返ってこないで心配です。

今月はケルン、シュパイヤーに行ってきました。シュパイヤーはあまり大きな都市でも有名な都市でもないですが、セメスターチケット内でいけますし、シュパイヤー大聖堂という世界遺産も見ることが出来ます。静かできれいでいい町でした。さらに、近くに遊園地があったので行ってきました。観覧車に乗ったのですが、係員さんのさじ加減で乗り降りするので、10周させられました。しかもなにげに高速に回るので酔いました。

朝と夜は冷え込んで日没も早くなりました。6時にはもう真っ暗です。ドイツの冬はとても寒いみたいなので乗り切れるか心配です。





### <家賃・保険料支払い>

家賃は契約の時に始めの3ヶ月分の家賃を先に払わなければならなかったのですが8~10月まではドイツにいる間は支払う必要はありません。でも、残りの滞在分の家賃は指定の口座に振り込まないとはいけません。Studierendenwerk Mannheimの人から残りの滞在分の家賃を振り込むか、引き落としにするかどうか確認のメールが来るので、私は引き落としを選びました。メールでIBANとBICを教えたら11月の始めに引き落とされていました。

マンハイムに来て、ドイツの保険AOKに加入したのでドイツの保険料も払わないといけません。これも、AOKの人からメールが来たので自分の口座情報を教えたら、引き落とされていました。私はドイツに来てからドイツの銀行口座を開設しましたが、9月に開設したので8月分を払っていませんでした。まだ銀行口座の開設が出来てないからもう少し待ってほしいとメールして、8、9月分一気に支払いました。銀行のキャッシュカードには、キャッシュ機能とクレジット機能がついていますが、私は家賃と保険料の支払い以外はドイツの銀行は利用していません。

タンデムパートナーが引っ越しをして一人暮らしを始めたので家に招待してくれました。ドイツ料理も振る舞ってくれて、とてもおいしかったです。タンデムの誕生日プレゼントを友達と買って、誕生日も祝いました。

そして違う日にタンデムが出ているサーカスに呼んでくれて、見に行きました。玉の上に乗ってジャグリングや、棒の上を一輪車で渡ったりすごかったです。いとも簡単に側転とかしていて、タンデムの柔軟の良さにも驚いていました。

念願の柳田選手のバレーボールの試合を見てきました。私がかろうどドイツに行く前にフランクフルトに移籍したのでずっとこの日を待ちわびていました。写真も撮ってくださって、サインももらいました。高校生の時からずっと大学入ったら柳田選手の試合見に行くと言っていたので夢が叶ってすごくうれしかったです。すごく優しくて言い方でした。



K7で事前に予約をしていきました。手続きは簡単ですがその日に出来るとは限らないので予約した方がスムーズに出来ます。少し早めに行って、住民登録解除の紙を記入しました。記入した紙とパスポートを見せたらすぐに出来ます。5分で終わりました。

#### <銀行の解約>

銀行の解約は予約なしで出来ます。始めにATMでギリギリまで紙幣を引き落とします。入り口のカウンターの人に解約したいと伝えて、パスポートと銀行のキャッシュカードを渡したら手続きをしてくれます。最後にサインをして終わりです。引き落とせれない残高は奥のKasseというガラス越しに話す窓口で現金でもらうことが出来ます。

#### <退寮の手続き>

Mieterportal 24thで退寮の日にちを知らせてくださいとメールが来るので、ログインをして退寮の日を送信します。ドイツはクリスマスと次の日は祝日で、私はクリスマスにドイツを発つのでハウスマイスターに退寮を立ち会ってもらえないと言われたので、綺麗に掃除してハウスマイスターのポストに鍵を入れておきますと伝えるとOkay!と返信が来ました。

#### <帰国便のチケット>

帰国便のチケットはルフトハンザに直接電話して行きます。日本との時差があるのでドイツ時間の夜の3時くらいに起きて予約しました。私が帰る日はちょうどクリスマスだったので混んでいましたがギリギリ予約を取ることが出来ました。

ドイツはクリスマスは祝日なので25、26日はお店があいていません。24日は14時にどのお店も閉まってしまうので、買い物をするなら早めにするのが大事です。

無事に帰国することが出来ました。この5ヶ月間つらいことの連続で心折れたことが何度もありましたがここまで来ることが出来ました。ドイツ留学を通して語学力だけでなく様々なことを学びました。来年度留学される方、大変なことたくさんあるかと思いますが頑張ってください。